

スモモの育て方

スモモ・・・原産地： 中国（ニホンスモモ）西アジア（ヨーロッパスモモ）

■作業カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育サイクル			花期				収穫					
植えつけ												
剪定												
肥料												



甘味、酸味があり夏のさわやかな味覚として人気のある果物です。スモモには、ニホンスモモとヨーロッパスモモとアメリカスモモがあります。果樹として栽培されているのは、プラムと呼ばれるニホンスモモとプルーンと呼ばれるヨーロッパスモモです。

スモモの品種

ヨーロッパスモモ

品 種	成熟期	果重	糖度	特 徴	受粉樹
シュガープルーン	9月上旬～中旬	40g前後	14度	糖度が高く酸味が少ない品種。豊産生で裂果が少なく栽培しやすい。	自家結実性
スタンレイ	8月下旬～9月上旬	40～50g	15～18度	糖度が高く酸味が少ない品種。豊産生で大果種。	自家結実性
サンプルーン	9月中旬	30g前後	18～20度	糖度が高くて非常においしく、豊産で作り易い。	自家結実性
バーバンク	9月中旬	80～100g	14度	プルーンの中では果実が大きく、酸味が少なく食べやすい。	受粉樹はある方がよい

ニホンスモモ

品 種	成熟期	果重	糖度	特 徴	受粉樹
ソルダム	7月頃	80～100g	11～14度前後	晩生種の中では品質最良で貯蔵性が高いです。	必 要
大石早生	6月頃	70g前後	9～11度前後	早生で暖地に向きます。短果枝が出来やすく花芽の付きが良いです。	必 要
メスレー	6月頃	40～50g	12～15度前後	豊産生で自家結実性があり、作り易いです。	自家結実性
サンタローザ	7月頃	100g前後	15度	果肉は良くしまり、香りが良いです。	自家結実性

■栽培条件

スモモ類は耐寒性があり、高温乾燥にも耐える為、全国で栽培可能ですが、開花期に霜に当たると結実しません。また、開花期と収穫期に雨が少なく、水はけと日当たりが良く土壌の深いところが適地です。

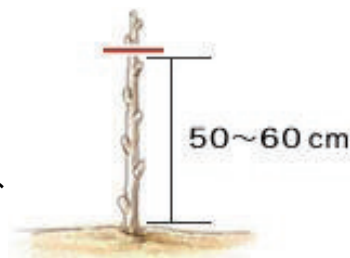
スモモ類の育つ温度条件は、年平均気温が7度以上で、-20度～-25度に耐えることが出来ます。

■植え付け

植え付け直後に地面から50cm～60cmの所で切り詰めます。

■受粉

スモモは自家結実性の品種が少なく、受粉樹が必要です。プルーンは自家結実性が強いです。



管理方法

■仕立て・剪枝・剪定

スモモ類は耐寒性があり、高温乾燥にも耐える為、全国で主幹形仕立てにする場合、2年目の落葉期に新しく伸びた枝（新梢）を3分の1くらい切り詰めます。3年目の落葉期に同様に、3分の1くらい新梢を切り詰めます。開花し結実するのは2年目の枝ですので、短果枝を出させるようにします。

■肥料

12月と9月に有機質肥料を施し、1～2月に配合肥料を施します。

■摘果

果実が多すぎると生長した時に実がぶつかりあい、大きくなれません。また傷付いたりします。果実が親指位の大きさの頃に摘果を行います。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

